

2024年度学校評価

1. よく当てはまる 2. だいたい当てはまる 3. あまり当てはまらない 4. 当てはまらない

1. 学ぶ意欲を引き出し、学力を生徒に身につけるような授業が行われている（教務）

回答項目	1		2		3		4	
年度比較	2023	2024	2023	2024	2023	2024	2023	2024
生徒	25%	19%	55%	61%	15%	18%	5%	2%
保護者	12%	12%	67%	70%	19%	16%	3%	2%
職員	6%	0%	72%	89%	22%	11%	0%	0%

2. 挨拶やマナー等の基本的生活習慣の確立に関する指導が行われている（生徒）

回答項目	1		2		3		4	
年度比較	2023	2024	2023	2024	2023	2024	2023	2024
生徒	35%	31%	40%	48%	19%	18%	6%	3%
保護者	18%	15%	71%	73%	8%	10%	2%	1%
職員	17%	11%	58%	58%	22%	21%	3%	11%

3. 進路目標の明確化及び実現に向けた適切な指導が行われている（進路・コース）

回答項目	1		2		3		4	
年度比較	2023	2024	2023	2024	2023	2024	2023	2024
生徒	40%	38%	42%	46%	13%	13%	6%	4%
保護者	25%	24%	60%	61%	12%	13%	3%	2%
職員	14%	11%	69%	68%	17%	21%	0%	0%

4. 教員やカウンセラーが必要な時に相談にのってくれる体制が整っている（宗教）

回答項目	1		2		3		4	
年度比較	2023	2024	2023	2024	2023	2024	2023	2024
生徒	36%	34%	52%	43%	7%	18%	4%	5%
保護者	19%	17%	64%	66%	15%	14%	2%	2%
職員	28%	16%	64%	79%	8%	5%	0%	0%

5. 部活動が活発に行われている（生徒）

回答項目	1		2		3		4	
年度比較	2023	2024	2023	2024	2023	2024	2023	2024
生徒	49%	41%	40%	43%	6%	6%	5%	9%
保護者	26%	31%	59%	56%	10%	10%	5%	3%
職員	17%	24%	58%	67%	25%	10%	0%	0%

6. 生徒会活動が活発に行われている（生徒）

回答項目	1		2		3		4	
年度比較	2023	2024	2023	2024	2023	2024	2023	2024
生徒	38%	24%	42%	48%	13%	17%	7%	11%
保護者	13%	11%	70%	67%	16%	21%	2%	1%
職員	33%	26%	50%	74%	17%	0%	0%	0%

7. 有意義な学校行事がある（生徒）

回答項目	1		2		3		4	
年度比較	2023	2024	2023	2024	2023	2024	2023	2024
生徒	35%	28%	43%	51%	14%	15%	8%	5%
保護者	19%	24%	63%	61%	14%	13%	4%	2%
職員	14%	16%	75%	84%	11%	0%	0%	0%

8. キリスト教主義に基づく特色ある学校づくりに取り組んでいる（宗教）

回答項目	1		2		3		4	
年度比較	2023	2024	2023	2024	2023	2024	2023	2024
生徒	57%	53%	38%	39%	4%	6%	1%	1%
保護者	43%	43%	54%	54%	2%	3%	1%	0%
職員	31%	47%	58%	47%	8%	5%	3%	0%

9. 災害、非常時の避難方法や連絡方法は伝えられている（生徒）

回答項目	1		2		3		4	
年度比較	2023	2024	2023	2024	2023	2024	2023	2024
生徒	41%	40%	47%	47%	8%	11%	4%	2%
保護者	20%	19%	70%	71%	10%	9%	1%	1%
職員	14%	11%	61%	78%	22%	11%	3%	0%

10. H Pや学校便りなどによって学校の情報は適切に伝えられる（総務）

回答項目	1		2		3		4	
年度比較	2023	2024	2023	2024	2023	2024	2023	2024
生徒	50%	31%	35%	47%	8%	17%	6%	5%
保護者	38%	36%	52%	54%	8%	8%	2%	1%
職員	19%	26%	75%	74%	3%	0%	3%	0%

11. 校舎やグラウンド等の施設設備は整えられている（事務）

回答項目	1		2		3		4	
年度比較	2023	2024	2023	2024	2023	2024	2023	2024
生徒	31%	25%	45%	47%	15%	20%	9%	9%
保護者	19%	24%	59%	61%	18%	12%	5%	3%
職員	8%	5%	58%	84%	19%	11%	14%	0%

12. 学校として日頃からいじめの早期発見に取り組んでいる（生徒）

回答項目	1		2		3		4	
年度比較	2023	2024	2023	2024	2023	2024	2023	2024
生徒	28%	22%	47%	53%	16%	17%	9%	8%
保護者	9%	9%	59%	59%	27%	27%	6%	5%
職員	8%	11%	75%	68%	17%	21%	0%	0%

13. 学校生活は充実している（全体）

回答項目	1		2		3		4	
年度比較	2023	2024	2023	2024	2023	2024	2023	2024
生徒	36%	30%	47%	53%	8%	13%	8%	3%
保護者	29%	30%	61%	59%	9%	10%	2%	2%
職員	8%	11%	78%	74%	14%	16%	0%	0%

14. 図書、ICT機器、視聴覚などの有効な活用がはかられている（図書情報）

回答項目	1		2		3		4	
年度比較	2023	2024	2023	2024	2023	2024	2023	2024
生徒	30%	23%	43%	53%	16%	16%	11%	8%
保護者	16%	15%	68%	70%	14%	14%	2%	1%
職員	19%	21%	67%	74%	11%	5%	3%	0%

15. 健康管理及び安全衛生の指導がしっかりしている（保健厚生）

回答項目	1		2		3		4	
年度比較	2023	2024	2023	2024	2023	2024	2023	2024
生徒	41%	28%	47%	54%	8%	15%	4%	3%
保護者	22%	21%	68%	70%	9%	8%	1%	1%
職員	25%	25%	61%	64%	14%	11%	0%	0%

16. 建学の精神、教育目標を理解している（全体）

回答項目	1		2		3		4	
年度比較	2023	2024	2023	2024	2023	2024	2023	2024
生徒	49%	33%	41%	53%	7%	10%	3%	3%
保護者	24%	23%	61%	65%	13%	10%	1%	2%
職員	14%	16%	64%	58%	19%	21%	3%	5%

17. 学習方法や学習計画、評価方法について指導している（教務）

回答項目	1		2		3		4	
年度比較	2023	2024	2023	2024	2023	2024	2023	2024
生徒	40%	31%	47%	54%	9%	13%	4%	2%
保護者	20%	20%	57%	61%	19%	16%	3%	2%
職員	17%	0%	64%	84%	19%	16%	0%	0%

18. 適切な量の家庭学習教材が与えられている（教務）

回答項目	1		2		3		4	
年度比較	2023	2024	2023	2024	2023	2024	2023	2024
生徒	38%	32%	48%	54%	10%	9%	4%	6%
保護者	15%	17%	66%	66%	16%	15%	2%	3%
職員	17%	11%	60%	58%	20%	26%	3%	5%

19. 携帯電話、スマートフォンの指導がしっかりされている（生徒）

回答項目	1		2		3		4	
年度比較	2023	2024	2023	2024	2023	2024	2023	2024
生徒	37%	35%	45%	45%	9%	18%	8%	3%
保護者	28%	27%	58%	61%	11%	10%	2%	2%
職員	19%	19%	47%	47%	31%	31%	3%	3%

学校評価について

1. 全般的なこと

(ア) 1と2を合わせて90%を上回る項目(高評価)

(※太字は昨年度も90%以上の評価)

<生徒> (昨年度2項目⇒今年度1項目 1項目減)

8. キリスト教主義に基づく特色ある学校づくりに取り組んでいる。(宗教部)

<保護者> (昨年度5項目⇒今年度4項目 1項目減)

8. キリスト教主義に基づく特色ある学校づくりに取り組んでいる。(宗教部)

9. 災害、非常時の避難方法や連絡方法は伝えられている。(生徒部)

10. HPや学校便りなどによって学校の情報は適切に伝えられている。(総務部)

15. 健康管理及び安全衛生の指導がしっかりしている。(保健厚生部)

<職員> (昨年度2項目⇒今年度7項目 5項目増)

4. 教員やカウンセラーが必要な時に相談にのってくれる体制が整っている。(宗教部)

5. 部活動が活発に行われている。(生徒部)

6. 生徒会活動が活発に行われている。(生徒部)

7. 有意義な学校行事がある。(生徒部)

8. キリスト教に基づく特色ある学校づくりに取り組んでいる。(宗教部)

10. HPや学校便りなどによって学校の情報は適切に伝えられている。(総務部)

14. 図書、ICT機器、視聴覚などの有効活用がはかられている。(図書情報部)

(イ) 1と2をあわせて80%を下回る項目(努力改善項目)

(※太字は昨年度も80%未満の評価)

<生徒> (昨年度5項目⇒今年度8項目 3項目増)

2. 挨拶やマナー等基本的な生活習慣の確立に関する指導が行われている。(生徒部)

4. 教員やカウンセラーが必要な時に相談にのってくれる体制が整っている。(宗教部)

6. 生徒会活動が活発に行われている。(生徒部)

7. 有意義な学校行事がある。(生徒部)

10. HPや学校便りなどによって学校の情報は適切に伝えられている。(総務部)

12. 学校として日頃からいじめの早期発見に取り組んでいる。(生徒部)

13. 学校生活は充実している。(全体)

14. 図書、ICT機器、視聴覚等の有効な活用がはかられている。(図書情報部)

<保護者> (昨年度4項目⇒今年度1項目 3項目減)

12. 学校として日頃からいじめの早期発見に取り組んでいる。(生徒部)

<職員> (昨年度7項目⇒今年度6項目 1項目減)

2. 挨拶やマナー等基本的な生活習慣の確立に関する指導が行われている。(生徒部)

3. 進路目標の明確化及び実現に向けた適切な指導が行われている。(進路部・コース)

1 2. 学校として日頃からいじめの早期発見に取り組んでいる。(生徒部)

1 6. 建学の精神、教育目標を理解している(全体)

1 8. 適切な量の家庭学習教材が与えられている。(教科)

1 9. 携帯電話、スマートフォンの指導がしっかりされている。(生徒部)

※下線項目_____は調査対象で(ア)と(イ)の結果乖離があった項目。

2. 各部署より

(全体)

1 3. 「学校生活は充実している」

⇒1と2をあわせての経年比較は、生徒(昨年度 83%⇒今年度 83%)、保護者(昨年度 90%⇒今年度 89%)、職員(昨年度 86%⇒今年度 85%)という評価となりました。生徒、保護者、職員について昨年度と同様の数値となりましたが、学校生活における充実度が更に上昇するように、各種評価項目の調査結果を分析して今後の学校経営の改善に努めていきたいと考えております。

1 6. 「建学の精神、教育目標を理解している」

⇒1と2をあわせての経年比較は、生徒(昨年度 90%⇒今年度 86%)、保護者(昨年度 85%⇒今年度 88%)、職員(昨年度 78%⇒今年度 74%)という評価となりました。生徒、職員評価が昨年度を下回る数値となりましたが、校舎移転を契機に今後は職員会議をはじめ多くの場面で機会をとらえて職員に対して周知徹底していきたいと考えております。また生徒、保護者の皆様に対しても引き続き様々な場面で建学の精神、教育目標の理解を深めるような取組を続けていきたいと考えております。

「自由記述」

本校の教育活動に対して高く評価していただくあたたかいコメントもいただきましたが、一方では多くのご指摘、ご要望をいただきました。ありがとうございます。学校として、学校全体で取り組むこと、各部署、各教科、各学年で取り組むこと、個人に意識させることを明確にし、優先順位を決めて今後の学校改革にいかしていきたいと考えております。⇒学校評価項目に「わからない」という項目を入れてほしいという要望もいただきました。学校評価については宮城県教育委員会が示した学校評価実施方法に準拠して行っており、その中に「わからない」という項目は設定されておりません。ご理解のほどよろしくお願いいたします。今後、県からあらたな方針が示されましたらあらためて対応していきたいと思っております。

(宗教部)

4. 「教員やカウンセラーが必要な時に相談にのってくれる体制が整っている」

⇒スクールカウンセラーは週3日勤務しており、生徒、保護者の相談を受けています。

今後とも、生徒には、困りごとがある場合には一人で抱え込まず相談するように促してまい

ります。保護者にも必要に応じて勧めてまいりますが、何か困りごとがございましたらご遠慮なくご利用ください。

8. 「キリスト教主義に基づく特色ある学校づくりに取り組んでいる」

⇒本校の教育は礼拝を中心としています。8時40分から8時55分までの15分間、全生徒が礼拝堂に集まり、心を一つにして礼拝を捧げています。生徒は礼拝の中で心を落ち着かせ、自分の心と対話するように促しています。またクリスマス時期には全生徒がクリスマスカードを制作し、高齢者や福祉施設等に送りました。特別礼拝は宗教委員が司会、聖書朗読を担当します。

建学の精神で謳っております「イエス・キリストにならう隣人への愛の精神」を実践するために、エコキャップ回収、ありのまま舎のボランティア等を行っております。

(総務部)

10. 「HPや学校便りなどによって学校の情報は適切に伝えられている」

⇒1と2をあわせた経年比較は、生徒(昨年度85%⇒今年度78%)、保護者(昨年度90%⇒今年度90%)、職員(昨年度94%⇒今年度100%)という評価となりました。保護者、職員については昨年度と同様の高い数値となりましたが、生徒の評価が下がってしまいました。次年度につきましては、生徒の評価も上がるように本校HPやClassiによる情報発信に努めてまいりたいと考えております。

(教務部)

1. 「学ぶ意欲を引き出し、学力を身につけるような授業が行われている」

⇒1と2をあわせた経年比較では、生徒(昨年度80%⇒今年度80%)、保護者(昨年度79%⇒今年度82%)と維持および微増の評価に対して、職員(昨年度78%⇒今年度89%)では大きな上昇評価となりました。その要因として、全国で先進的な授業を行い活躍されている教員をここ数年連続してお招きして本校独自に定期開催している「夏の教員研修会」や「秋の次世代型モデル授業の公開」の機会を通して、また、本校設置の授業力向上委員会が主管となり今年度新たに本校教員相互の授業公開の機会を設けるなどしたことで、授業向上に向けた先生方の日頃の創意工夫が少しずつ成果として表れ、結果として自己評価の上昇に繋がったと考えられます。先生方自身が日々実践する授業に対するPDCAサイクルのDoとCheckの過程において、前述の研修等で獲得した知見や方法を積極的に活用して新しいチャレンジに繋がったり、生徒記述の振り返りシートや授業評価アンケートを受けて日常的に授業改善を図ってきたことで、試行錯誤の途上段階からいよいよ成功体験に繋がり自信と手応えの獲得に移行できたことは大きな前進であると受け止めております。

17. 「学習方法や学習計画、評価方法について指導している」

⇒1と2をあわせた経年比較では、生徒(昨年度87%⇒今年度85%)、保護者(昨年度77%⇒今年度81%)、職員(昨年度81%⇒今年度84%)といずれも大きな変化はなく昨年度維持の結果となりました。昨年度は保護者の評価のみが80%を下回っている結果でしたが、教務部としてはこの1～2年間は年度当初にClassiにて生徒のみならず保護者向けにも「評価

一覧」を一斉送信で配布したことで「評価方法」を明確にできたことが一因と考えております。今後もさらに 80%を超えて上方推移させる方策として、「学習方法や学習計画」の観点に対して教務部としてどう関われるかを考える必要があると受け止めております。具体的には、各年次やクラス担任、各教科や進路部などで行われている「学習方法や学習計画」に向けた日頃の指導のほかに、教務部として他部署とどう連携し発信していけるかを模索する必要があると考えております。

18. 「適切な量の家庭学習教材が与えられている」

⇒1と2をあわせた経年比較では、生徒(昨年度 86%⇒今年度 86%)、保護者(昨年度 81%⇒今年度 83%)、職員(昨年度 77%⇒今年度 69%)となりました。この結果から、生徒・保護者共に概ね適切な量や内容の家庭学習教材が与えられていると受け止めております。一方で、今年の大きな特徴として、職員(教員)自身が長年培ってきた教員経験から課してきた家庭学習課題の量や内容に対して、特に近年一部生徒において学力差と学習意欲の無気力な生徒が入学し始めている現状との間で職員(教員)自身が困惑している様子が垣間見えます。本校としては、常に個別最適な学びを見据えつつ、生徒個々の特性や特徴を見極めながら可能な範囲内で配慮や対応を加えつつ、またその一方で単位修得や進学指導上不変となる絶対的な要求レベルとの間で上手く均衡を図りながら調整していく取り組みが必要と考えます。この設問自体は各年次や教科に付託されている部分が大きいので、教務部として取り組めることに限界はありますが、今後も評価の上昇に繋がるよう努めていきたいと考えております。

(生徒部)

2. 「挨拶やマナー等の基本的な生活習慣の確立に関する指導が行われている」

⇒1と2をあわせた経年比較では、生徒(昨年度 75%⇒今年度 79%)、保護者(昨年度 89%⇒今年度 88%)、職員(昨年度 75%⇒今年度 69%)となりました。この結果から、生徒には 80%を超えていないものの指導が活発になってきていると考えられます。保護者に関しても概ねご理解をいただけているものと考えますが、職員の指導回数の減、意識の低下も考えられます。生活習慣の指導に自信をもって行ってもらえるよう生徒部のみならず、学校全体で指導してまいります。

5. 「部活動が活発に行われている」

⇒1と2をあわせた経年比較では、生徒(昨年度 89%⇒今年度 84%)、保護者(昨年度 85%⇒今年度 87%)、職員(昨年度 75%⇒今年度 91%)となりました。移転も踏まえてあらたな環境でさらに生徒の諸活動が活発になるよう学校として取り組んでいきたいと考えております。

6. 「生徒会活動が活発に行われている」

⇒1と2をあわせた経年比較では、生徒(昨年度 80%⇒今年度 72%)、保護者(昨年度 83%⇒今年度 78%)、職員(昨年度 88%⇒今年度 100%)となりました。生徒会活動について、全校生徒に伝える場を増やし、保護者に対して Classi 等を用いて情報発信の機会を増やして

いこうと考えます。

7.「有意義な学校行事がある」

⇒1と2をあわせた経年比較では、生徒(昨年度 78%⇒今年度 79%)、保護者(昨年度 82%⇒今年度 85%)、職員(昨年度 89%⇒今年度 100%)となりました。この結果より、6「生徒会活動が活発に行われている」の項目と同じく職員の回答との乖離が見られます。生徒・保護者に対する満足度を上げられるよう生徒会と連携を密にし、工夫してまいります。

9.「災害、非常時の避難方法や連絡方法は伝えられている」

⇒1と2をあわせた経年比較では、生徒(昨年度 88%⇒今年度 87%)、保護者(昨年度 90%⇒今年度 90%)、職員(昨年度 75%⇒今年度 89%)となりました。今後も年に2回の避難訓練を継続してまいります。

12.「学校として日頃からいじめの早期発見に取り組んでいる」

⇒1と2をあわせた経年比較では、生徒(昨年度 75%⇒今年度 75%)、保護者(昨年度 68%⇒今年度 68%)、職員(昨年度 83%⇒今年度 79%)となりました。次年度から「いじめアンケート」を年2回実施すること、そして、「いじめ防止講演」を開催する予定です。

19.「携帯電話、スマートフォンの指導がしっかりされている」

⇒1と2をあわせた経年比較では、生徒(昨年度 82%⇒今年度 80%)、保護者(昨年度 86%⇒今年度 88%)、職員(昨年度 66%⇒今年度 66%)となりました。学校でも講演の開催を行っておりますが、端末を与えている保護者(ご家庭)からの指導・教育も必要であると感じております。クロムブックについての取り扱いに関しては、授業等において指導してまいります。

(進路部)

3.「進路目標の明確化及び実現に向けた適切な指導が行われている」

⇒1,2回答が生徒、保護者ともに約 85%となっており、昨年より微増しています。また、3,4を回答した生徒が昨年に比して微減となっています。新キャンパスでの進学重視型単位制での授業と課外講習等の持ち方を戦略的に組み立てられるよう検討し実践していきたいと考えています。また、本年度から実施されている面談期間に合わせて、進路に関する情報発信をし、各生徒が進路に対する意識を啓発していきたいと考えています。

自由記述

⇒大学入試をはじめとする進路に関することについて、情報の提供と説明をもうすこししてほしいとのご指摘がありました。毎年、『進学の手引』を発行しておりますが、その後の重要な情報につきましては、折に触れて発信していきたいと考えております。

(図書情報部)

14.「図書、ICT機器、視聴覚などの有効な活用がはかられている」

⇒新校舎への移転にあわせて、有効なICT機器の活用を今後とも考えて実践していきたいと考えております。

(保健厚生部)

1 5. 「健康管理及び安全衛生の指導がしっかりしている」

⇒今年度より、5月と10月の年2回の二者面談を導入したことで、生徒が人間関係の悩みや進路について担任と相談する機会が増えています。その結果、トラブルの未然防止や関係性の向上につながっており、生徒が安心して学校生活を送れる環境が整ってきております。また、毎月「保健室便り」を配信し、学校の様子や健康・安全に関する注意喚起を発信することで、生徒・保護者・担任の情報共有を円滑に進める取り組みを行っています。今後も、生徒だけでなく教職員の健康を第一に考え、より良い学校環境の実現に努めてまいります。

(管理職・事務部)

1 1. 「校舎やグラウンド等の施設設備は整えられている」

⇒新校舎へ移転し、必要な施設設備の整備をいたします。生徒の安心安全な教育活動を安定的に継続するため、より充実した環境整備を実施できるよう引き続き努めてまいります。